

★ほくりく創業支援ネットワーク ミーティングVol.3 結果概要★

- 令和4年12月20日に、富山県民会館で開催した「ほくりく創業支援ネットワーク ミーティングVol.3」は富山県・石川県から19市町村23名、関係機関や事務局を含め、約45名が参加。
- 中小企業庁からの創業支援に関する施策説明後、青森大学の石井准教授からを講師としてお招きし、創業支援や企画立案、官民共創のコツ等をご講演いただいた後、トークセッションとグループワークを実施。

1. ミーティングVol.3の概要

- 中小企業庁 創業・新事業促進課の加福係長からは、中小企業庁が実施する創業・スタートアップ支援、特定創業支援等事業の説明があり、参加者から「しっかりと制度を普及していきたい」との声があった。
- 青森大学の石井准教授（前・岩手県釜石市オープンシティ推進室長）からは、自身の自治体での経験から、自治体特有の課題の解決方法や、半官半民の地域コーディネーター「釜援隊」などの事例紹介、**「混沌を意図し、何かが起きやすい／生まれやすい組織・地域の土壌を耕す」ことが大切**等、参加者に多くの学びと気づきをいただけるご講演だった。参加者からは、「行政も多様な価値観を受け入れる体制が必要。出る杭を育てることが必要」といった声があった。
- 参加者全体を交えたトークセッション、グループワークでは、時間が限られていたものの、活発な質問が出た上、有意義な情報交換の時間が取られた。

2. 結果や課題、今後について

- **参加者の93%の方から「(大変)参考になった」と評価**をいただいた。
- 今年度の2回のミーティングを通じて、「新たな創業支援施策を来年度予算に入れた」、「創業者交流会を新たに始めた」といった自治体や、他機関と連携した創業支援事業を進める自治体が出始めている。
- 引き続き、アンケートで希望の多かった講演やグループワークなどをはじめ、自治体や支援機関との連携を深める場を提供するとともに、必要に応じて新たな事業を進めていく。

当日の様子



青森大学 石井准教授のご講演



参加者対話型のトークセッションの様子



グループワークの様子